

■夢の実現へリニア中央新幹線^{③⑨}
市民とともにリニアのまちづくり^⑨
第4回ビジョン策定委員会を開催しました

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、第4回リニアのまちづくりビジョン策定委員会（以下策定委員会）と市内15地区のまちづくり協議会などに対して実施したビジョン素案の説明会の様子をお伝えします。

問 リニア推進課（☎内線324）

第4回ビジョン策定委員会

第4回策定委員会は、2月18日（月）健康福祉会館多目的ホールで開催されました。



挨拶される竹内委員長

今回は、昨年6月から協議・検討を進めとりまとめられた「リニアのまちづくりビジョン」（素案）について協議し、委員の皆さんからは、さまざまな意見が出され、より深い議論となりました。

今後、これらの意見などを踏まえて素案を修正し、5月開催の次回委員会でビジョン最終案としてとりまとめる予定です。

また、ビジョン最終案が完成した段階で、市民の皆さんからご意見・ご提案をいただき、ビジョンに反映させるため、市民意見公募（パブリックコメント）を予定しています。

【いただいた主な意見】

■素案に書かれていることを実行していくのは、一人ではできないが市民一人一人ができることからやるのが大切である。

■「行政と住民の関わり方をどう展開していくのか」、「恵那市との連携関係をどうするのか」、「10年間の工事期間をどう活用するのか」といった記述が欲しい。

■行政は事業者との間をどう取り持つか、そのあたりの取り組みをもう少し記述する必要がある。

■コンパクトな商業機能や駅前居住についてどのくらいの規模とすることが課題である。大きな話になりがちなので慎重に対応していく必要がある。

■商業機能は駅ビルの中に取り込んだ方がいいと考えるがどのように進めるかが大事。できるだけ地元資本を取り入れられるようにPFI[※]などの事業方式を考えておく必要がある。

■いろいろな案が書かれており、夢もある。ビジョンをどういう形で具体化を図っていくのか、意見をどう反映するのか。ビジョンの具体化に向けた組織づくりへの対応・仕組みを検討してもらいたい。

■中津川らしさとは何かを考えたときに車両基地ができるということがを念頭に置くことが大事。中津川から輩出されている多くの方々を掘り起こし、活用していくことも重要である。

■策定委員会の開催状況や会議資料は市ホームページでご覧になれます。「リニアのまちづくりビジョン」（素案）については、作成途中であり、最終案がまとまった段階で市ホームページに掲載します。

■次回策定委員会は、5月17日（金）14時から健康福祉会館4階多目的ホールにて開催の予定です。

各地区のまちづくり協議会などにビジョンの素案を説明

「リニアのまちづくりビジョン」には、各地区のまちづくり協議会などで検討していただいたリニア時代を見据えた各地区の取り組みを盛り込むことから、各地区のまちづくり協議会などに対しビジョン素案の説明を行いました。

各地区からいただいた貴重なご意見を参考に、ビジョンの最終とりまとめを行っていきます。



説明会の様子（付知地区）

※PFIとはプライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う事業方式